

Jcity TOKYO 23 ANNIVERSARY

# 神保町三井ビルディング 23周年記念コンサート

～2台チェンバロの饗演～

西山まりえ  
(チェンバロ)  
©Naoya Yamaguchi



大村千秋  
(チェンバロ)



大光嘉理人  
(バロックヴァイオリン)  
©Ayane Shindo



堀内由紀  
(バロックヴァイオリン)



佐々木梨花  
(バロックヴィオラ)



懸田貴嗣  
(バロックチェロ)



布施砂丘彦  
(ヴィオローネ)  
©Martin Chiang

3月13日(金) 18:00開演  
JINBOCHO MITSUI BUILDING  
神保町三井ビルディング  
エントランス北ホール

〈曲目〉

バッハ 2台のチェンバロ協奏曲 ハ長調 BWV1061a

バッハ 2台のチェンバロ協奏曲 ハ短調 BWV1060

ポッケリーニ(西山まりえ編) ギター五重奏曲  
第4番 ニ長調 G.448より

3. グラーヴェ・アッサイ / 4. ファンダンゴ

ほか ※曲目は変更になる場合がございます。

入場無料  
自由席

主催：神保町三井ビルディング管理組合 / ジェイシティ東京まちづくりフォーラム

後援：&三井不動産

協力：株式会社MATインターナショナル

お問合せ：ミュージックアカデミー東京 j-cembalo2026@music-academy.jp

〔神保町三井ビルディング〕千代田区神田神保町1-105

(都営三田線・新宿線「神保町」駅A9出口より徒歩1分 / 東京メトロ東西線「竹橋」駅3b出口より徒歩5分 / 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅B7出口より徒歩5分 / JR「御茶ノ水」駅御茶ノ水橋口より徒歩8分)



©Naoya Yamaguchi

## 西山まりえ

チェンバロとヒストリカル・ハープ、2種の古楽器を自在に操る稀有なプレーヤーとして、世界的に知られ、数多くのコンサート、音楽祭や録音に参加。ルネ・ヤーコプス、カルロス・ヌニェス、ミカラ・ペトリ、山下洋輔、藤原道山など、幅広いジャンルのアーティストと共演。国内外レーベルではその多くが「レコード芸術」誌特選盤や朝日新聞・毎日新聞推薦盤に選ばれるなど、高く評価されている。音楽番組、教養情報番組などTV・ラジオへの出演も多い。第11回山梨古楽コンクール・チェンバロ部門第1位および栃木「蔵の街」音楽祭賞受賞。「信州アーリー・ミュージック村音楽祭」芸術監督。日本チェンバロ協会会員。日本ハープ協会理事。武蔵野音楽大学非常勤講師。



## 大村千秋

東京藝術大学大学院古楽科チェンバロ専攻修了。修了時にアカンサス音楽賞を受賞。2009年度文化庁海外研修員としてオランダに留学、アムステルダム音楽院にて学ぶ。第21回古楽コンクール山梨最高位受賞。帰国後は、ソロリサイタルを定期的に関催し、ルネサンスから現代にわたる意欲的なプログラムが好評を得ている。また、ソリスト、通奏低音・アンサンブル奏者として多方面で演奏活動を行うほか、後進の指導にも力を注いでいる。NHK-FM「リサイタル・パッシオ」出演。「アンサンブル of トウキョウ」メンバー。東京音楽大学、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。



©Ayane Shindo

## 大光嘉理人

愛知県豊田市出身。東京藝術大学音楽学部を経て、同大学大学院修了。ソリストとして中部フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、愛知室内オーケストラと共演。2019年、ロストロポーヴィチ国際音楽祭およびPMFアカデミーに参加し、同アカデミーではコンサートマスターを務めた。2023年、豊田文化新人賞受賞。ソロや室内楽を中心に多彩なレパートリーを展開し、国内主要プロオーケストラにコンサートマスターや首席奏者として客演。古楽器奏者としても活躍するほか、劇伴音楽の録音にも多数参加している。横浜シンフォニエッタ・ヴァイオリン奏者。公式サイト: [karitooohmitsu.wixsite.com/karitooohmitsu-violin](http://karitooohmitsu.wixsite.com/karitooohmitsu-violin) Instagram: @karito\_ohmitsu



## 堀内由紀

東京芸術大学音楽学部を経て、同大学大学院バロック・ヴァイオリン専攻を修了。卒業時にアカンサス音楽賞、ならびに大学院アカンサス音楽賞を受賞。2012年度文化庁海外派遣研修員および野村財団奨学生として渡蘭し、デン・ハーグ国立音楽院修士課程を修了。2015年イタリア・ボンポルティ国際音楽コンクール第3位、あわせて審査員特別賞を受賞。現在、オーケストラ・リベラクラシカ、パッサ・コレギウム・ジャパンの公演および録音に参加。ヴァイオリン作品における「恣意的装飾」の研究により博士号を取得。桜美林大学非常勤講師。



## 佐々木梨花

仙台市出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学卒業。ヴァイオリンをHenri Tatar、勅使河原真実、豊田弓乃、辰巳明子各氏に、バロックヴァイオリンを若松夏美氏に師事。ヴィオラ・ダ・ガンバを福澤宏、森川麻子各氏に師事。2019年まで桐朋女子高等学校非常勤講師を務める。2023年東京芸術大学大学院修士課程古楽科(バロックヴァイオリン)を修了。現在、古楽オーケストラLa Musica Collana、BONUM MUSICA MEMBRAメンバー。パッサ・コレギウム・ジャパンの公演に参加。アモローソ音楽院講師。2023年8月日本下持ち協会(ヴィオラ・ダ・ガンパコンサート)を設立し、企画代表を務める。



## 懸田貴嗣

東京芸術大学院修了後、ミラノ市立音楽院で学ぶ。伊ボンポルティ国際古楽コンクールで第1位・聴衆賞を受賞。BCJ、リクレアツィオン・ダルカディア、ラ・ヴェネシアーナのメンバーとして世界各地の音楽祭に招かれている。これまでエマ・カークビー、ミカラ・ペトリ、エンリコ・オノフリなど多くの著名なソリストと共演している。横浜シンフォニエッタ、アンサンブルofトウキョウをはじめモダン楽器の分野でも活躍している。CD「ランゼッティ/チェロ・ソナタ集」で文化庁芸術祭優秀賞受賞。下田国際音楽コンクール、国際古楽コンクールの審査員を歴任。昨秋リリースの「コスタンツィ/チェロ・ソナタ集」は朝日新聞等多くのメディアでも話題となった。



©Martin Chiang

## 布施砂丘彦

東京芸術大学卒業。演奏、批評、公演の企画・制作や舞台作品の演出などを行う。演奏家としてはコントラバスでのプロオーケストラへの首席客演、実験音楽の演奏、即興パフォーマンスなどを行うほか、古楽器(ピリオド楽器)の演奏もしており、2021年からアントネッロおよびパッサ・コレギウム・ジャパンに参加。多様なサイズ、調弦のヴィオローネを演奏する。批評家としては時評「音楽の態度」で第7回柴田南雄音楽評論賞奨励賞を受賞してデビュー。朝日新聞をはじめとして多くのメディアに寄稿している。東京芸術劇場(TMTギア)アート・クリエイター。近年は異なるジャンルの音楽家、俳優、ダンサー、現代美術の作家などとも協働している。